

第 4 2 1 回 役 員 会 議 事 要 録

1. 日 時 平成 2 9 年 2 月 2 7 日 (月) 自 1 3 時 3 0 分 至 1 4 時 2 0 分
2. 場 所 学 長 室
3. 出 席 者 中 井 学 長、中 田 理 事・副 学 長、三 浦 理 事・副 学 長、小 沢 理 事・副 学 長、
若 井 理 事・事 務 局 長
【オ ブ ザ ー バ ー 出 席】真 田 副 学 長、千 葉 副 学 長、上 井 監 事、橋 本 監 事
4. 欠 席 者 な し
5. 審 議 事 項
 - (1) 就 業 規 則 の 一 部 改 正 に つ い て 資 料 1
 - (2) 労 使 協 定 の 締 結 に つ い て 資 料 2
 - (3) 平 成 2 9 年 学 生 教 育 支 援 基 金 に よ る 支 援 事 業 の 採 択 に つ い て 資 料 3
 - (4) そ の 他

【確 認 事 項】

第 4 2 0 回 役 員 会 議 事 要 録 を 原 案 の と お り 確 認 し た。

【審 議 事 項】

(1) 就 業 規 則 の 一 部 改 正 に つ い て

中 田 理 事 よ り 標 記 に つ い て 提 案 が あり、資 料 1 に 基 づ き、国 家 公 務 員 給 与 法 改 正 に 準 拠 し た 給 与 関 係 規 則 の 一 部 改 正 の 他、採 用 関 係、懲 戒 関 係、休 暇 関 係、旅 費 関 係 規 則 の 一 部 改 正 に つ い て 説 明 が あ っ た。

審 議 の 結 果、原 案 の と お り 承 認 さ れ、就 業 条 件 検 討 委 員 会 に 諮 問、各 事 業 場 過 半 数 代 表 者 に 提 示、教 育 研 究 評 議 会 に 報 告 を 行 い、職 員 給 与 関 係 に つ い て は、経 営 協 議 会 の 議 を 経 る こ と が 確 認 さ れ た。併 せ て、各 事 業 場 過 半 数 代 表 者 か ら の 意 見 を 踏 ま え、改 め て 役 員 会 で 最 終 審 議 す る こ と が 確 認 さ れ た。

(2) 労 使 協 定 の 締 結 に つ い て

中 田 理 事 よ り 標 記 に つ い て 提 案 が あり、資 料 2 に 基 づ き、平 成 2 9 年 4 月 よ り 適 用 と な る 労 使 協 定 の 更 新 内 容 に つ い て 説 明 が あ っ た。

審 議 の 結 果、原 案 の と お り 承 認 さ れ、今 後 の 手 続 き と し て 就 業 条 件 検 討 委 員 会 に 諮 問、各 事 業 場 過 半 数 代 表 者 に 提 示、教 育 研 究 評 議 会 に 報 告 す る こ と が 確 認 さ れ た。

(3) 平 成 2 9 年 度 学 生 教 育 支 援 基 金 に よ る 支 援 事 業 の 採 択 に つ い て

若 井 理 事 よ り 標 記 に つ い て 提 案 が あり、資 料 3 に 基 づ き、審 査 ス ケ ジ ュ ー ル と し て 書 面 審 査 を 2 月 上 旬 に 行 い、2 次 審 査 を 2 月 1 4 日 に 開 催 し た こ と、採 択 事 業 と し て、国 際 交 流 セ ン タ ー に よ る 「福 島 大 学 と 海 外 協 定 校 に よ る 双 方 向 交 流 事 業」、経 済 経 営 学

類による「多文化体験による国際人育成プログラムの創出」、総合教育研究センターによる「『主体的学習を促進する』学生による学生のための学習支援プロジェクト」、アクセシビリティ支援室による「学生サポーターの養成と実践」の4事業に決定すること及び各事業の概略について説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(4) その他

なし。